



放射線治療について

稲城市保健センター

☎378-3421

を切らずに治し、臓器の機能や美容を保つ点にあります。また、体への負担が少ないので高齢の方や合併症があつて手術が受けられない方でも治療を受けることが可能です。

放射線治療の理想は「がん細胞には最大の線量を、正常細胞には最小限の線量を」という言葉で表現されるように、がん細胞のみにピンポイントで放射線を照射することです。複数の方向からがん細胞へ集中して放射線を照射すれば、正常細胞への影響を極力減らすことができます。しかし、

既に6割が放射線治療を受けているのに対し、日本ではがん患者の4人に1人が放射線治療を受けているにすぎません。

放射線治療の特徴はがん

を切らずに治し、臓器の機能や美容を保つ点にあります。また、体への負担が少ないので高齢の方や合併症があつて手術が受けられない方でも治療を受けることが可能です。

放射線治療は、通常4週から7週間程度、土・日曜日、祝日を除いて毎日行われます。毎日同じ場所に精密に照射するために特別なマスクや装具を使うこともあります。実際の照射時間は1〜2分間です。放射線があたつても、痛くも熱くもありません。放射線治療は手術と同じく局所に対する治療法です。このため、多くの副作用は治療部位に限られます。また患者さん自身が放射能を持ち、家族など接する人に影響を与えることもありません。

稲城市立病院では従来の外科治療、薬物治療に、新たに放射線治療が加わることにより市民の皆様により質の高い医療を提供していきたいと考えます。

稲城市医師会

池田 俊昭